

2021年度 熊本YMCA放課後等デイサービス 自己評価

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
理念・事業方針等	1	事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している。	○			理念や基本方針については、ホームページに記載されている。
	2	長期・中期計画、単年度ごとの事業計画を策定している。		○		単年度毎の事業計画については作成されているが、長期・中期計画の策定までには至っていない。
	3	全職員が理念や事業計画等を理解するため、研修の取組みを定期的に行っている。	○			全体の職員研修や定期的なスタッフミーティングにおいて理解を深めている。
	4	理念や事業計画について、利用者やその家族に説明会を定期的に行っている。			○	利用者に対しては都度行っているが、家族に対する説明会という形での実施はされていない。
環境・体制整備	5	利用定員が作業・訓練室等スペースの関係で適切である。	○			利用者定員を満たすスペースの確保がなされている。
	6	職員の配置数は適切である。	○			基準の職員配置数を満たしつつ、利用者ニーズに応じて基準以上の職員を配置している。
	7	事業所の設備等についてバリアフリー化等に配慮がなされている。	○			バリアフリーにはなっているが、厨房内が滑りやすいという難点がある。
業務改善	8	業務改善をすすめるためにPDCAサイクルに広く職員が参画している。	○			PDCAサイクルのに基づいて業務効率化を推進すべく、スタッフ一同で意見交換を行い参画している。
	9	利用者へのアンケート調査を実施して利用者の意向を把握し業務改善につなげている。	○			口頭での聞き取り及びアンケートを行った。
	10	自己評価の結果をホームページ等で公開している	○			前年度評価を4月中に公開するようにしている。
	11	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげる。			○	外部評価による第三者評価は実施していない。
	12	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○			全体職員研修、職位別研修、外部研修等に積極的に参加し、資質向上に努めている。
適切な支援の提供	13	アセスメントを適切に行い、利用者のニーズや課題を客観的に分析したうえで計画を作成している。	○			利用者の方個々人の現状等を踏まえての計画作成を心掛けている。
	14	支援終了後は職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の検証・改善につなげている。	○			利用者不在時(退勤後)等に、その日の支援内容についての意見交換や状況確認等を行い、支援につなげている。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	○			支援記録作成に関する研修及び管理者が支援記録の内容チェックなどを行い、記録者への指導等を行っている。
	16	定期的なモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。	○			支援計画見直し時に実施するだけでなく、支援相談員とも情報共有やモニタリングを設け、見直しの必要性について検討している。
	17	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	○			利用契約時や更新時期、支援計画作成時に説明を行っている。
	18	利用者からの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要に助言と支援を行っている。	○			必要に応じて個々の面談等を実施している。相談支援事業所や支援相談員とも情報共有を行っている。

苦情対応	19	利用者に対し、事業所内の苦情解決制度(窓口)を周知している。	○			重要事項説明書等に明記しており、説明を行っている。
	20	苦情解決に必要な対応を客観的に判断できるよう、第三者委員等を設置している。			○	第三者委員会の設置には至っていない。
利用者の人権尊重	21	人権侵害、虐待、セクシャルハラスメント等に係る事業者内の研修会を開催している。	○			弁護士による組織内での研修に参加している。
	22	人権侵害、虐待等が見過ごされなかったための取組みを行っている。	○			定期的に虐待に関する意見交換や行政等の資料の回覧・確認等を行っている。
非常時時の対応	19	各種安全マニュアルを策定し、職員や利用者にも周知している。			○	いくつかのマニュアルは策定しているが、不足している領域もある。
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な対応をしている。	○			他の部署と合同で定期的に避難訓練を行っている。
	21	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。			○	虐待防止の掲示は行っているが、研修等は行っていない。
	22	やむを得ず身体拘束を行うことについて、組織的に決定し、利用者や家族に事前に十分に説明し了解を得た上で計画に記載している。			○	身体拘束に至ったことは無い。
	23	ヒヤリハットの事例集を作成し、事業所内で共有している。				○
地域福祉への貢献・交流等	24	ボランティアや実習生の受け入れを行っている。	○			大学や高等支援学校からの実習生及びボランティアを積極的に受け入れている。
	25	周辺地域や関係機関等に対し、事業所の情報を提供している。	○			チラシやメニューに事業所情報を記載し、地域や近隣住民に対して配布している。
	26	事業所の行事等の地域への開放、地域行事等への参加を行っている。			○	地域への開放は行っているが、地域行事への参加はあまりできていない。
個人情報の保護	27	個人情報保護に係る事業所内の研修会を定期的に行っている。			○	研修会を定期的に行ってはいないが、スタッフには周知徹底している。
	28	アセスメント表、支援計画等の個人情報記載された記録は、施錠可能なキャビネットに保管する等の対応を行っている。	○			施錠可能なキャビネットに保管している。